

平成22年度札幌医科大学 FDワークショップ Step1 【人文】 学生の意見

担当教員

高橋弘毅（医学部内科学第三講座教授）

佐藤利夫（医療人育成センター教育開発研究部門講師）

旗手俊彦（医療人育成センター教養教育研究部門准教授）

- 実施日時と場所

- 日時：11月30日（火）17時00分～18時00分
- 場所：南第3講義室（教育南棟）

- 参加学生

- 医学部5年 女子2名
- 医学部2年 男子2名

- 参加教員

- 担当教員3名（高橋，佐藤，旗手）

- オブザーバー

- 相馬仁教授（教育開発研究部門）

実施概要

- 講義は面白いと感じるが、毎回のレポートは「レスポンスシート」だけであり、授業後1週間も経つと自分の身に入っていない。
(2年学生)
- 「こういうことを専門にやるんだなあ」ということは感じるが、知識が抜けてしまう。(2年学生)
- 授業で得た知識を部活動に活用できないかと考えている。
(2年学生)
- 全体的に良かったと思う。上級学年の立場からは、1年で学んだことが無駄になったとは思わない。(5年学生)
- 生物学的な内容だけでなく、社会的な立場からの視点でも学びたい。
(5年学生)
- 教材として配付資料だけで教科書がない。図書館には参考書があるが、何を読めばよいのか分からない。もっと学習したい場合には、物足りない。(2年学生)
- 毎回の授業は完結しているため、講演会を聴いているようだ。
(5年学生)

「心理学」に対する意見

「倫理学」に対する意見

- 提示された学習主題と学習内容はマッチしており、指定教科書を基本に授業が進行していた。
- 受け身の授業であり、倫理学の方法を用いて「考える」ということがなかった。
- 学習内容について学生に問いかけるような講義をしてはどうか。
- 患者の話を聴く授業はどうか。

「哲学」に対する意見

- 自分にとって全く未知の分野であることから哲学を選択したが、実際に講義で勉強したのは「哲学の入り口」。
- 自分にとっては面白かった。良かったと思う。
- 講義のテーマは無理に医学に結びつける必要はなく、今の内容でよい。

「倫理学」と「哲学」に対する意見

「経済学」に対する意見

- 参加学生は少数であり、全員が履修していない。
- 履修している学生は「レポートを提出すれば落ちないだろう」といった感覚があるのではないか。

「文学」に対する意見

- どの講義も面白かった。
- 映画作品を鑑賞しながら文学を学ぶという、独特の講義スタイルがよかった。
- 講義のテーマは無理に医学に結びつける必要はなく、今の内容でよい。

「経済学」と「文学」に対する意見

- 4年の「医事法制」につながる感じの授業である。（5年学生）
- 自分にとっては良かった。

「法学」と「社会学」に対する意見